

水道標準プラットフォームのご案内 ~情報の一元化に向けたシステムの導入について~

水道事業に携わる全ての方が抱える課題を解決する「水道標準プラットフォーム」

日本の水道事業は、少子高齢化や人口減少による水道収入の減少、高度経済成長期に急速に敷設されたインフラ設備の老朽化、ベテラン職員の退職などにより、継続的な事業の運営が難しくなっています。

こうした水道事業が抱える課題の解決策として、水道事業を営む自治体同士が連携する「広域連携」が掲げられ、広域連携を促進する社会インフラとしてIoT技術を活用したデータ利活用による事業のスマート化（水道IoT）の実現が期待されています。この水道IoTの実現に向け、水道情報のデータ利活用を行うための共通基盤「水道標準プラットフォーム」の構築が経済産業省等の実証事業として実施されました。そして2019年度にはJECCが経済産業省の補助事業者として選定され、2020年5月より正式にサービスの提供を開始しました。

「水道標準プラットフォーム」導入による四つのメリットをご案内します。

メリット1 経営資源の最適化

人口規模に合わせた柔軟な運営を実現

従来のシステム導入は償却期間（15年間）がありましたが、クラウドはシステムを自前で持たないため、給水人口の変化や期間に合わせた柔軟なリソース設定が可能です。設備統廃合による監視箇所数の減少、監視内容・点数の変更といった事例にも対応します。

メリット2 情報の利活用

システムをまたいだデータの利用が可能に

データを標準化するため、システム間でのデータ連携が行えます。たとえば、水道施設台帳のシステム情報と水道施設の運転監視データを連携させ、水需要を1日ごと、あるいは年間で予測することができます。運用負荷の低下や作業の効率化も図れます。

なお、「データの横断的な利活用の促進」は、その端緒に就いたばかりであり、次ページでご案内している「水道情報活用システム標準仕様研究会」の活動等を通じ、具体化に向け更なる検討を進めてまいります。

メリット3 広域化・施設統廃合

広域化によるシステム統合がスムーズに

共通ルールに則りデータが蓄積されているため、システム同士の統合がスムーズになります。広域連携を検討する際のシミュレーションや、広域化後の効率的な事業運営にもつながります。

メリット4 BCP対応・テレワークの推進

遠隔操作で、災害対応やテレワークに強み

システムデータがクラウド上に保存されるため、災害時のサーバ損傷によるデータの損失リスクが軽減されます。また、セキュリティの充実により、遠隔操作も安心です。テレワークにも対応しています。

上水道事業が直面している3つの課題とは

problem1
人口減少、
給水収支の低下に対する
コストバランスの悪化

problem2
職員減少や、
ベテラン職員の退職による
人員の不足

problem3
縦割りの管理システムのため、
他地域とのデータ連携など
システム間連携が難しい

JECC

JECCの水道標準プラットフォームを導入すると……

solution1
サブスクリプションによる
利用料払いで
コスト調整が柔軟に

solution2
ITで管理ノウハウを共有し
業務を標準化

solution3
データ流通・利活用により
他地域連携を促進

柔軟なコスト調整と職員負担の軽減、さらには広域化も より効率的な経営に

「水道情報活用システム標準仕様研究会」のご案内

研究会について

本研究会は、水道事業及び水道用水供給事業におけるデータ流通のためのルール（以下「標準仕様」）の標準化を推進することで、水道事業者及び水道用水供給事業者におけるデータの横断的な利活用を促進し、水道事業者及び水道用水供給事業者の社会的責任の遂行と顧客満足度の向上に寄与することを目的に、2020年8月4日に設立されました。

事業内容

本研究会は、上記目的を果たすため、標準仕様等の維持管理、及び外部機関等からの要請に応じた標準仕様の開発に関する検討を行います。また、目的に掲げる「データの横断的な利活用の促進」は、本研究会に設置するSIG（Special Interest Group）・WG等の活動を通じ、データ利活用の具体化等に向けた検討を進めてまいります。

標準仕様書の管理体制

標準仕様書の管理は、公益財団法人 水道技術研究センター様に設置する「水道情報活用システム標準仕様審査委員会」とJECCに設置する本研究会が連携して行います（下図参照）。

研究会の活動体制について

本研究会には、検討テーマ毎に会議体を設け、検討・審議を行います。部会やSIG・WGは、必要に応じ設置してまいります。

会員について

会費	無料（将来的には会費を頂く予定ですが、総会によって決議します）
会員メリット	(1) 標準仕様書(最新版)の閲覧 (2) 標準仕様書改定の次期改定案および検討経緯の閲覧 (3) 標準仕様への改定要求 (4) 部会等への参加 (5) 標準仕様に準拠したサービス・製品の公表 ※非会員は、(1)のみ行えます。
事務局	JECCが運営致します。

お問い合わせ先
 〒100-8341 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル
 株式会社 JECC 内 水道情報活用システム標準仕様研究会事務局
 TEL: 03-3216-3605 FAX: 03-3216-3860
 Mail: wssp-sc@jecc.com HP: http://www.j-wpf.jp/

